

# 予備電池

つげ幻象

寒林を来て引導を渡さるる  
 冬日影上り下りのすれ違ひ  
 春めくや薄きくちびるとがらせて  
 頭一つ富士抜きんでて棚霞  
 蛇漬かる酒のまぶしき日永かな  
 美濃紙の模様の著し春日差  
 永き日や輪ゴムでくくる予備電池  
 なまぬるき風のはこべる祭笛  
 自転車を借りる駅頭青嵐  
 麦秋や鴉と道を譲りあひ